

「繁栄は感謝の実」

～あなたは神様に本当に感謝していますか？～

Ⅱ コリ 9 : 10-12

■ 繁栄の祝福を得るため

あなたは神様から繁栄の祝福を得ていますか・・・もし今、あなたが世の中の法則で生きているなら、その祝福を得ることはできません。なぜなら、世の中の法則は私たちに本音を出さずうまく生きる術(知識)を得させ、私たちに高ぶりや執着、頑なさを生み、素直に神様の前に出ることをできなくさせるからです。今日は先週に引き続き祝福のメッセージです。私たちが悪いものでなく良いものを継承し、受くるより与えることを幸いとすることをためにはどのようにしたら良いのでしょうか。

私たちは『なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか(マタ7:3)』と言われるように自らのことはよく見えない生き物です。しかしイエス様はそんな私たちのために十字架にかかられました。このことは、私たちが日々の中で誤った道を歩んでしまったときに罪に気がつき戻ろうとする力となります。そして私たちがなぜそのような行動をしたのかを自分自身で祈り探ること、また隣人のためにとりなすことを示されます。あなたは神様からどのように受け、どのように購われましたか。もしそのまま生きていたら、今ほどようになっていたのでしょうか。そのことを思い起こし神様に本当に感謝できているか確認しましょう。神様はあなたが受けた傷を完全に癒されます。確かに癒されるまでは開きたくないと開くので痛みを伴います。しかしこれは信仰の訓練であり、これをとおして私たちは健康に歩めるようになります。その上に神様は祝福を与えてくださるのです。私たちが今持っているものはすべて神様から与えられたものです。それなのにあなたは自分のものというのでしょうか。繁栄の祝福は感謝から生まれます。ですから私たちは神様がどのようにしてくださったのかを思い、その愛をあなたから隣人に流し、愛の連鎖していく必要があるのです。

■ なぜ人は執着してしまうのか

しかし、私たちは与えるより受けることばかりを考えてしまうことがあります。それはどうしてでしょうか。またそうなるとうどのようなことが起こるのでしょうか。

1サム 15章でサウル王は神様から勝利を与えられましたが、その時の戦利品は全て聖絶しなければならないと言われます。しかしサウル王は執着の故に聖絶することを惜しみ神様の言葉を守ることができませんでした。そしてこのことでサウル王は王座から退けられてしまいます。このことから執着は神様からの祝福を退けてしまうものとわかります。しかし人はなぜ執着してしまうのでしょうか。それは原罪によって人が骨折して糧を得なければならなくなったところに遡ります。私たちが命を使って糧を得ることが命に執着することとなり、物やお金に執着することになってしまったのです。

あなたは誰かに何かをするとき惜しむ心はないでしょうか。もしあるならば、あなたが持っているものは全てあなたが自らで得たものかどうか考えてみましょう。それらは全て神様が与えてくださったものではないでしょうか。しかし、もしあなたが執着して自ら生きようとするならば、ヘブル 6:3-6にあるように、イエス様をもう一度十字架にかけることと同じになってしまいます。神様からの賜物(タラント)は本人が努力したのではなく、神様が無償で与えてくださったギフトです。蒔く種をも神様は与えてくださると聖書にあるとおりです。それが分かっていたら私たちはその与えられたものを自分のものとして借し隣人に与えられるはずで、そしてそれをする中で神様は絶対に祝福を与えてくださいます。いつまでも自分勝手に与えられることばかりを思わず、自分の周りで困っている人にどう分け与えるかを考えましょう。

■ 1 繁栄と祝福に目的を損して得(恵み)とれ 執着があればムリ

エビで鯛を釣るという言葉がありますが、あなたはエビさえも惜しみ、えさをつけずに釣れないと文句を言っていないでしょ

うか?神様は蒔く種をただで与えてくださったうえに、そのうちの十分の九は自分のために使ってよい、しかしその十分の一だけはいのちのために使うようにとされます。私たちがそれを守るなら神様は祝福を与えてくださるのです。それならば実行しなければもったいないと思いませんか。何のためにするのか、どこに種を蒔くのかを考え、正しく管理しながら、種を蒔いていきましょう。

■ 2 ばら撒け 潤せ

種を蒔くには犠牲が伴うことがあります。一か八かという場面に必ず出ることがあります。しかしそこで信仰を持って歩んだら必ずうまくいきます。しっかり管理することは大切ですが、執着して自分のものとしていないか確認しながら、あなたの周りにばら撒き、潤していきましょう。神様はあなたが執着を捨て、あなた自身の欲に打ち勝ち、神様を大事にされるかを見ておられます。そして今あるものをしっかり管理できるようになれば次のものを任せてくださるようになります。ですから欲によって自分を減ぼさないように、2レプタを惜しまず感謝して捧げた女のように、神様に捧げ、周りに流していきましょう。

■ 3 対処からの脱出 その場しのぎは無意味

病気になるたらず薬を飲む人がいます。もちろんなかには治療に薬が不可欠なこともあります。私たちにストレスを取ったり食事を改善したりすることにより、薬に頼らず自らで治療する能力が備わっています。では、神様が与えてくださる癒しとはどのようなものなのでしょうか。それは対処療法でなく究極的な癒しです。それによって人生が変わる癒しです。私たちがそれを得るには聖書の一部から神様のことを解釈するのではなく、最初から最後までプロセスを大事にしていくことが必要です。それが私たちの繁栄の源となります。神様によって根本から良くなるように、そしてあなたから溢れ流れる繁栄が人々を助けるようになるように願います。

■ イエス様の十字架の犠牲に応えよう

今日あなたがここにいるのはイエス・キリストの犠牲があったからであり、教会のみんなが関わり祈るのは、イエス様にしてもらったことです。ですからあなたもあなたのために祈ってくれたことに対し、感謝と思うならあなたの周りの困った人たちに対して執着せず種蒔きをしていきましょう。神様は蒔く種をあなたに用意してくださり、蒔くことで三十倍六十倍の祝福を用意してくださっています。自らのために自らを減ぼすことのないようにしましょう。そして、祝福を受けるなら祝福をする者に、繁栄を受けるならあなたの持っているものをあなたの隣人に命を懸けて与えていきましょう。執着する心を遠ざけて神様の祝福を得て、来週はぜひ、皆が繁栄の祝福についての証を携えて教会へ集いましょう。

(要約者:平澤 瞳)